

# 感染症週報〔市内週報 平成21年第24週〕

結核・感染症発生動向調査

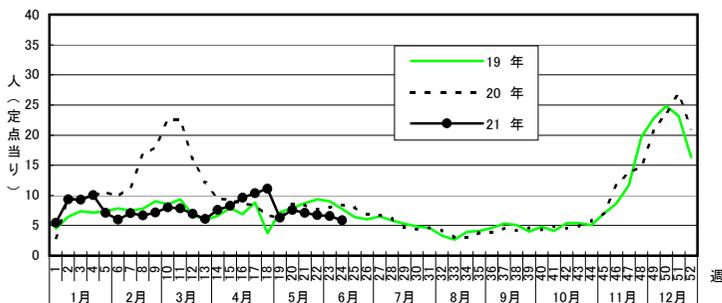
平成21年6月16日

平成21年第24週感染症発生状況【川崎市内】

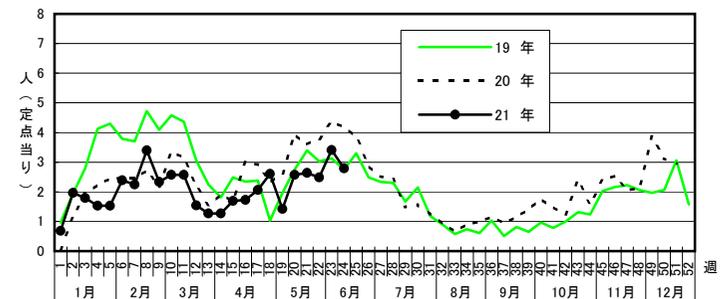
平成21年6月8日～平成21年6月14日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届出	累計(平成21年第1週以降)
第24週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 伝染性紅斑の順となっています。 伝染性紅斑の報告数が引き続き過去5年平均の約2倍と多くなっていますので注意が必要です。特に北部の多摩区、宮前区で警報レベルを超えています。 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1件(感染地域:川崎市、推定感染経路:経口感染<焼肉店の利用あり>)ありました。  ≪健康安全室からのお知らせ≫ 川崎市では、新型インフルエンザのための発熱相談センターを設置しております。発熱、のどの痛み、せきなどの症状があり、新型インフルエンザの感染が疑われる方は、医療機関を受診する前に、発熱相談センターにご相談ください。	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 6件	結核 166件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1件	細菌性赤痢 2件 腸管出血性大腸菌感染症 5件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件 デング熱 1件 レジオネラ症 1件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 6件 ウイルス性肝炎 1件、急性脳炎 1件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 後天性免疫不全症候群 9件 ジアルジア症 2件 髄膜炎菌性髄膜炎 1件 梅毒 4件、風しん 1件、麻しん 13件
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ 3件	新型インフルエンザ 9件	

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

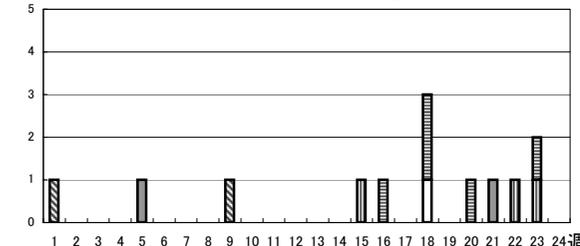


新型インフルエンザ患者数(国内発生分)

平成21年6月16日11時現在

都道府県			都道府県			都道府県		
	累計患者数			累計患者数			累計患者数	
1	北海道	3	10	長野県	2	19	鳥取県	2
2	岩手県	2	11	静岡県	9	20	広島県	2
3	秋田県	1	12	愛知県	11	21	山口県	4
4	埼玉県	5	13	三重県	1	22	徳島県	1
5	千葉県	71	14	滋賀県	4	23	愛媛県	1
6	東京都	40	15	京都府	8	24	福岡県	62
7	神奈川県	23	16	大阪府	165	25	鹿児島県	1
8	新潟県	2	17	兵庫県	205	合計 628人 (前週6月9日449人)		
9	山梨県	2	18	和歌山県	1			

川崎市別麻しん発生状況(診断週別集計)



H21年麻しん年齢群別発生報告数(診断週で集計)

	24週		累計		
	24週	累計	24週	累計	
0歳	0	1	10~14歳	0	2(2)
1歳	0	1	15~19歳	0	1(1)
2歳	0	1(1)	20~24歳	0	2(2)
3歳	0	0	25~29歳	0	0
4歳	0	1(1)	30~39歳	0	1(1)
5歳	0	0	40~49歳	0	1
6~7歳	0	0	50歳以上	0	1
8~9歳	0	1(1)	()		

()内の数字は予防接種歴有の人数









